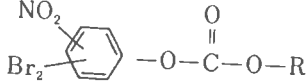
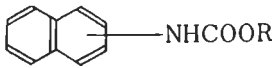
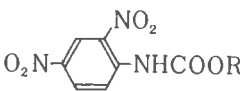


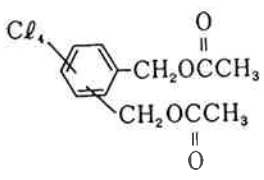
特許・実用新案登録一覽

—昭和48年度—

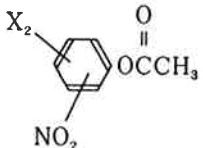
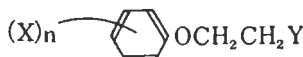
<日本特許> 27件

No	出願番号	公告番号	登録番号	発 明 の 名 称
1	41-69581 41.10.22 (井沢 正一, 山田 静夫)	47-22205 47. 6.22	671928 48. 1.10	n-ブテンの製法 (要旨) 有機アルミニウム化合物, ハロゲン化ホウ素及びニッケルのキレート化合物の3成分系触媒にエチレンを接触させることを特徴とするn-ブテンの製造法。
2	44-66843 44. 8.26 (迫村 寿男, 井上 実, 高尾 忠行, 入江 邦博, 大野 一郎, 鹿島 孝夫)	46-43913 46.12.27	675104 48. 1.30	除 草 剤 (要旨) 一般式  (ただしRはメチル基またはエチル基とうの低級アルキル基を表わす)で示される化合物を有効成分とし, その1種または2種以上よりなることを特徴とする除草剤。
3	44-68195 44. 8.28 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 大鶴 雅昭)	47-18847 47. 5.31	676074 48. 2. 5	エチレンの重合方法 (要旨) 少なくとも1つの Si-Si 結合を有し, しかも Si-H 結合を有しない有機珪素化合物の少なくとも1種とチタンまたはバナジウムのハロゲン化合物のいずれか一方もしくは双方を反応させて得られる触媒組成物にエチレンを接触させることを特徴とするエチレンの重合方法。
4	43-88468 43.12. 3 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 高尾 忠行)	47-32645 47. 8.21	679213 48. 2.20	選択性除草剤 (要旨) 一般式  (ただし, Rは低級アルキル基を示す)で表わされる化合物を有効成分とし, その一種または二種以上よりなることを特徴とする選択性除草剤。
5	43-88469 43.12. 3 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 高尾 忠行)	47-32646 47. 8.21	679214 48. 2.20	選択性除草剤 (要旨) 一般式  (ただし, Rは低級アルキル基を示す)で表わされる化合物を有効成分とし, その一種または二種以上よりなることを特徴とする選択性除草剤。
6	41-32224 41. 5.20 (井沢 正一, 小野 勲, 飯国 鉄男)	43-13609 43. 6. 8	681567 48. 3.13	アクロレンの製造方法 (要旨) プロピレンを分子状酸素または分子状酸素を含む混合ガスと触媒上で接触せしめることによってアクロレンを製造するにあたり, バナジウム, 鉄, ビスマスおよびモリブデンを含有しそれらの原子百分率が1.7~51, 0.7~32, 13~65および7~70である触媒を使用することを特徴とするアクロレンの製造方法。

№	出願番号	公告番号	登録番号	発 明 の 名 称
7	44-86595 44.10.29 (迫村 寿男, 藤井 一)	47-36234 47. 9.11	681393 48. 3.13	<p>繊維の安定な難燃処理法 (要旨)</p> <p>天然または合成繊維をポリエチレンポリアミン, エチレンジアミン, アンモニアの各々の臭化水素酸塩またはそれらのリン酸塩(ただしリン酸アンモンを除く)の少なくとも一種とホルマリンを配合し, あるいはこれに尿素または/およびメラミンを混合し, 塩基または酸でPHを2~12に調整した水溶液で処理することを特徴とする繊維難燃処理法</p>
8	42-62129 42. 9.27 (高木 利治, 橋本 勉, 渡辺 秀夫, 上田 敬一)	47-35406 47. 9. 6	681392 48. 3.13	<p>塩化ビニルの製造方法 (要旨)</p> <p>エチレン, 塩酸, および酸素または空気の混合ガスから直接に塩化ビニルを生成せしめる方法において, 主触媒としての塩化銅(CuCl_2)と助触媒として塩化カドミウム(CdCl_2), 塩化タンタル(TaCl_5), 塩化ビスマス(BiCl_3)または塩化クロム(CrCl_3)と塩化亜鉛(ZnCl_2)よりなる群から選ばれた少なくとも一種の金属塩化物を担体に担持した触媒を使用することを特徴とする塩化ビニルの製造方法。</p>
9	42-63448 42.10. 2 (高木 利治, 橋本 勉, 渡辺 秀夫, 上田 敬一)	47-37601 47. 9.22	683860 48. 4. 2	<p>塩化ビニルの製造方法 (要旨)</p> <p>塩化銅とアルカリ金属および/またはアルカリ土類金属の塩化物を担体に担持した触媒と塩化亜鉛, 塩化アルミニウム, 塩化ランタンおよび塩化ビスマスから選ばれた少なくとも1種を担体に担持した触媒の両者を, 反応塔内に混合あるいは層別に充填せる触媒層に, エチレン, 塩化水素および空気または酸素を気相接触反応せしめることを特徴とする直接に塩化ビニルを製造する方法。</p>
10	44-96889 44.12. 4 (迫村 寿男, 清水 明彦, 喜多 篤)	47-33507 47. 8.25	681831 48. 3.16	<p>ジエン重合体の製造法 (要旨)</p> <p>(イ) メルカプタン, ジスルフィド, ハロゲン化炭化水素, アゾチオエーテル等の重合調節剤の少なくとも1種0.05~15.0(重量)%と (ロ) トリフェニルホウ素0.01~3.0(重量)%の存在下でラジカル開始剤によりジエン類の少なくとも1種(但しクロロブレンを除く)またはそれと共重合可能なモノマーを重合せしめ溶媒可溶性のジエン重合体を高転化率で製造する方法。</p>
11	42-67593 42.10.20 (国井 大蔵)	47-35472 47. 9. 6	683861 48. 4. 2	<p>粒径分布のサンプリングを同時に行う粉粒体移動層の降下速度測定方法 (要旨)</p> <p>粉粒体が移動層をなして降下する管の下部から連続的に少量の粉粒体を抜き出し, 空気あるいは窒素などの不活性ガスを用いて細管内を輸送して粉粒体の粒径分布測定装置の中に連続的に送りこんで粒径分布を測定し, 測定を受けた粉粒体は再び前の輸送用空気あるいは窒素などの不活性ガスによって揚送し, その途中に設置した加熱器あるいは冷却器によって移動層と相当に異なる温度まで加熱あるいは冷却したのちに移動層上部に設置したホッパーに送り込み, 供給機を用いて断続的に粉粒体を移動層中に送入し, 送入場所よりも下方で少なくとも2つの異なる高さに設置された温度計に対する応答を検知して粉粒体移動速度を指示, 記録させることを特徴とする粒径分布のサンプリングを同時に行う粉粒体移動層の降下速度測定方法。</p>

№	出願番号	公告番号	登録番号	発 明 の 名 称
12	45-2591 45. 1. 8 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 森 倫平, 小坂 洋一)	47-38966 47.10. 2	684930 48. 4. 6	<p>農業用殺菌剤 (要旨) 一般式 </p> <p>にて示される化合物の1種または2種以上を有効成分とし、単独または担体と混合して使用することを特徴とする農業用殺菌剤。</p>
13	45-5137 45. 1.21 (小野 勲, 飯国 鉄男, 明石 光正)	47-38411 47. 9.28	686780 48. 4.19	<p>アクロレイン及びアクリル酸の製造法 (要旨) プロピレンを水蒸気および空気又は分子状酸素を含む混合ガスと共に気相接触酸化してアクロレンを製造するに際しモリブデン、コバルト、鉄、ビスマス、およびスズからなる金属元素の酸素化合物からなる高活性触媒又はモリブデン、コバルト、鉄、ビスマス、およびスズにさらにアルミ、ニッケル、タングステン、クロム、インジウムおよびニオブからなる元素群より選ばれた1種又はそれ以上を加えて得られる系の酸素化合物からなる高活性触媒上でアクロレンを製造するにあたり触媒の組成が次の一般式で表示される触媒を使用することを特徴とするアクロレンの製造法。 MoaCobFecBidAeOf 但し a, b, c, d, e および f は各元素の原子数を表わし a=12 としたとき b, c, d, e および f の値はそれぞれ次の範囲をとる。b=7~12, c=0.3~4, d=0.4~2.5, e=0.1~3, f=47~73, Aはスズ単独か或はスズにさらにアルミ、ニッケル、タングステン、クロム、インジウムおよびニオブからなる元素群より1種又はそれ以上を選んで加えた複合系である。</p>
14	44-99710 44.12.11 (大槻 進, 堀 恭一, 宮之原 勲, 藪田 晃一)	47-40460 47.10.13	687891 48. 5. 7	<p>塩化ビニル重合物スケールの除去法 (要旨) 塩化ビニル重合槽内の重合物スケールの除去にあたり、アセトンと環状炭化水素の混合溶媒を該スケールに接触させこれを剥離せしめることからなる重合槽内のスケールの除去法。</p>
15	44-68194 44. 8.28 (大槻 進, 内田 侃一)	47-43922 47.11. 7	690757 48. 5.21	<p>メチルクロロホルムの安定化法 (要旨) メチルクロロホルムに3・4ジヒドロ-2H-ピラン及び5・6-ジヒドロ-2H-ピランの少なくとも1種と炭素数1~4のニトロアルカン並びにこれらと炭素数2~4, 含有塩素原子0~1のエポキシドまたは/および1・1・1-トリクロロ-2-メチル-2-プロパノールを添加することを特徴とするメチルクロロホルムの安定化法。</p>
16	43-45568 43. 7. 2 (迫村 寿男, 木佐木 尚, 真淵 俊介)	47-46044 47.11.20	691843 48. 6. 1	<p>混合ジクロロブテンより2-ブテン-1・4-ジオールの製造法 (要旨) 混合ジクロロブテン、(3・4-ジクロロ-1-ブテン、シスおよびトランス-1・4-ジクロロ-2-ブテン)を加水分解して2価アルコールを製造するにあたり、ギ酸塩水溶液に銅の金属単体もしくはそれらの化合物を添加して行うことにより、実質的にすべてを2-ブテン-1・4-ジオールに交換せしめることを特徴とする方法。</p>
17	42-31321 42. 5.18 (井沢 正一, 山田 静夫,	47-49564 47.12.13	696450 48. 7. 6	<p>α-オレフィンの二量化及び共二量化方法 (要旨) 一般式 R₃Al または/および R₂AlH であらわされる有機アル</p>

№	出願番号	公告番号	登録番号	発 明 の 名 称
	国本 則男)			ミニウム化合物、(ただしRは炭素数2~4のアルキル基)とアルコキシチタニウムアセチルアセトナートからなる二成分系触媒によるプロピレンの二量化法およびエチレン・プロピレンの共二量化方法。
18	44-36401 44. 5.12 (小野 勲, 山田 静夫, 佐々木博朗, 田中 哲夫)	47-50099 47.12.15	696492 48. 7. 6	シクロドデカトリエンの製造方法 (要旨) 一般式 $Ti(O \cdot CH_2 \cdot CH_2 \cdot OR)_n Cl_{4-n}$ $0 \leq n \leq 3$, Rはアルキル, フェニル, ナフチル基を示し, フェニル基としてはニトロ基, ハロゲン原子等で置換されたものを含む)で示される β -アルコキシまたは β -アリロキシエトキシチタニウムクロライドとアルキルアルミニウムセスキクロライドからなる触媒を不活性溶媒中でブタジエンに作用させてシクロドデカトリエンを製造する方法。
19	43-27985 43. 4.27 (迫村 寿男, 入江 邦博, 田原 篤行, 吉元 英臣, 酒井 正純)	47-43055 47.10.31	697679 48. 7.13	農園芸用殺ダニ剤 (要旨) ペンタクロルフェノキシメチオンアネートを有効成分として含有することを特徴とする農園芸用殺ダニ剤。
20	45-49974 45. 6.10 (大槻 進, 内田 侃一, 宮之原 勲)	48-681 48. 1.10	698935 48. 8. 4	1.1.1-トリクロルエタンの安定化法 (要旨) 1.1.1-トリクロルエタンに安定化補助剤としてメタクリル酸グリシジルエステルを添加することからなる1.1.1-トリクロルエタンの安定化法
21	44-33871 44. 4.30 (齊藤 茂助)	48-2410 48. 1.24	699573 48. 8.10	延伸急冷押出成形方法 (要旨) 押出用口金内において, 押出機から供給された樹脂を円筒状として上方に向けて進行させ, 次いでこの樹脂を反転させて外下方に向わせ, かくして樹脂を口金の円環状間隙から外下方に向って筒状体として押し出し, 押し出された樹脂筒状体を口金間隙の外下方に設けた円環状の拡大用蕊体に沿わせ, ここで再び樹脂筒状体を反転させて外上方に向って進行させ, 筒状体を上記蕊体によって延伸すると共に冷却用液体に直接接触せしめて, 樹脂筒状体の内面を急冷することを特徴とする延伸フィルムの製造方法。
22	44-64306 44. 8.14 (迫村 寿男, 清水 明彦, 紀 隆之, 喜多 篤)	48-3911 48. 2. 3	700194 48. 8.20	クロロプレン重合体の製造法 (要旨) 少なくとも一成分として, アクリロニトリルを含むクロロプレン共重合体の製造に際し, その分子量調節に少なくとも1個の臭素原子で置換されたメタン, エタンまたはそれらの塩化物の少なくとも一種 0.1~20.0重量部を存在せしめてラジカル開始剤により重合を行うことを特徴とするクロロプレンゴムの製造法。
23	45-2593 45. 1. 8 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 森 倫平, 長岡 秀樹)	48-935 48. 1. 2	704913 48. 9.29	稲白葉枯病防除剤 (要旨) メチル-(4-メチルフェニル)カーボネート, メチル-(2,4-ジクロロ-6-メチルフェニル)カーボネートの一種以上を有効成分とし, 単独または担体と混合して使用することを特徴とする稲白葉枯病防除剤。
24	43-89166 43.12. 4 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 高尾 忠行)	48-5901 48. 2.21	705024 48. 9.29	除草剤 (要旨) 一般式 $\left(\begin{array}{c} \text{NO}_2 \\ \\ \text{C}_6\text{H}_3 \\ \\ \text{Br}_2 \end{array} \text{O} \right)_n \text{M}$

№	出願番号	公告番号	登録番号	発 明 の 名 称
				(Mは水素, アルカリ金属およびアルカリ土類金属で, nはMが水素の場合はn=1, およびアルカリ金属, アルカリ土類金属の場合はその金属の原子価である。ただし, 2・6-ジプロモ-4-ニトロフェノールまたはその誘導体を除く。)にて示されるニトロジプロモフェノールおよびその金属塩を有効成分としてその一種または二種以上よりなることを特徴とする除草剤。
25	45-2592 45. 1. 8 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 森 倫平, 小坂 洋一)	48-8807 48. 3.17	705052 48. 9.29	<p>稲いもち病防除剤 (要旨) 一般式</p>  <p>(ただしXは塩素または臭素等のハロゲンを表わす)にて示される化合物の一種または二種以上を有効成分とし, 単独または担体と混合して使用することを特徴とする稲いもち病防除剤。</p>
26	44-35326 44. 5. 8 (大槻 進, 竹中 明範)	48-10452 48. 4. 3	708067 48.10.31	<p>アクリル酸の回収方法 (要旨) プロピレンを酸素分子を含むガスにより, 気相接触酸化して得られたアクリル酸を含む反応生成ガスを, そのガスの露点以上の温度の冷却媒体を用いた間接冷却器で予冷し, ついで不揮発性重合防止剤と揮発性重合防止剤を含む水溶液を該反応生成ガス中に噴霧蒸発させることにより, ガス温度を露点より少し高い温度まで冷却し, さらに間接冷却器へ管内流速 20m/sec (標準状態) 以上の流速で導入, 急冷することにより, 反応生成ガスが露点近くの温度に滞在する時間をきわめて短縮し, アクリル酸の重合を防ぐようにして凝集したアクリル酸水溶液を得ることを特徴とするアクリル酸の回収法。</p>
27	42-12677 42. 2.28 (迫村 寿男, 入江 邦博)	45-25520 45. 8.24	709165 48.11. 9	<p>農園芸用殺菌剤 (要旨) 一般式</p>  <p>(ただし, YはSCN, CN, XはCl, Brを表わし, nは2~5の整数を表わす)にて示される化合物の一種または二種以上を有効成分とし単独または担体と混合して使用することを特徴とする農園芸用殺菌剤。</p>

<実 用 新 案> 2件

1	44-21284 44. 3.10 (富田 昇, 宮武 博文, 有近 健二)	47-39090 47.11.27	1003970 48. 6. 7	<p>ベルトコンベアによる輸送物引出装置 (要旨) ベルトコンベアのベルト上に輸送物の引出口を設置したものにおいて, 該引出口の下端に直接又は間接に取付けられた可撓, 弾性材料よりなるすらせ板と, 前記ベルトとの間に上記すらせ板に密着する平面U型の補助ベルトを挿入介装せしめたことを特徴とするベルトコンベアにおける輸送物引出装置。</p>
2	44-98402 44.10.16 (石田 正明, 藤井 秀雄, 高木 利治)	47-40982 42.12.12	1005110 48. 6.19	<p>合成樹脂製袋 (要旨) 柔軟な合成樹脂のフィルム又はシートを材料として作製された袋において, この袋はその一部に設けられた開口部を残して全周縁が閉じられており, 上記袋の内部には, 別に軟質フィルム製の筒</p>

№	出願番号	公告番号	登録番号	発 明 の 名 称
				<p>状体が上記開口部から扁平に押圧された状態で挿入されており、この筒状体の一端部はその周縁部において上記開口部の内周縁に接着されて袋の口を形成し、筒状体の他端部は袋内において開口されており、またこの筒状体の上記他端部は、筒状体が扁平に押圧されたときその一方側の先端が他方側の先端よりも長く突出しており、この長く突出した片の内側面には舌片が設けられており、この舌片は、上記長く突出した片の先端方向に向かって突出されており、上記舌片の先端は、上記長く突出した片の先端と短い片の先端との間に位置しており、さらにこの筒状体は扁平に押圧された状態のままその軸方向の両側縁が、袋が構成する2つの壁のうち一方の壁の内面に接着されておりその際の接着すべき壁は、その壁と上記筒状体の長く突出した片とが外側に位置し、その間に短い側の片が挟まれる側の壁を選ぶものとし、かようにして構成された口を有し、上記口から収容物を充填した後はそのまま、収容物が流出しないようにしたことを特徴とする合成樹脂製袋。</p>

<米 国 特 許> 7件

№	登録番号	公告番号	出願番号	発 明 の 名 称
1	3708552 73. 1. 2 (国井 大蔵, 功刀 泰碩)		86572 '67. 9.22	<p>Process and Apparatus for Thermal Cracking of Hydrocarbon. (要旨) 上方が径の大きい反応帯域となり下方が径の小さい移送帯域となっており、その反応帯域の頂部に小径の連結部をもち、上方に向けて径を大きくする反応器をもった反応塔と、上方が径の大きい燃焼帯域となり、下方が径の小さい移送帯域となっており、その燃焼帯域の上方に稀薄流動層燃焼加熱帯域を備えた再生塔とを併設し、反応帯域と再生塔の底部、並びに、燃焼帯域と反応塔の底部をそれぞれ通路により連絡した装置において、燃焼帯域において加熱された高温の粒状熱媒体を主として自重により反応塔の底部に移動せしめ下部より過熱水蒸気および必要に応じ原料炭化水素の一部を吹込むことにより濃厚流動層状態で上方に送って反応帯域に於いて濃厚浮遊流動状態を形成せしめ、その反応帯域に原料炭化水素を送入してそ熱分解を行なわしめ、更に反応帯域頂部の連結部にガス状炭化水素あるいは原油を蒸留して得られる留油を供給してこれを反応帯域からの粉粒状熱媒体による稀薄流動層状態で熱分解すると共に原料炭化水素よりの熱分解ガスの冷却を行い、同時に、反応帯域に於ける流動状態から溢流する粒状熱媒体はこれを主として自重により、再生塔の底部に移動せしめ下部より水蒸気等の吹込みにより濃厚流動層状態で上方に送り且つこれに空気及び必要に応じ燃料を補給して燃焼帯域に於いて粒状熱媒体を濃厚浮遊流動状態に保持しつつ燃焼を起こさせその燃焼によって再生加熱された粒状熱媒体を溢流により前記の如く反応塔の底部に移動せしめるようにし、更に燃焼帯域と稀薄流動層燃焼加熱帯域との接続部に空気を供給して下部よりの可燃ガス並びに微粉状炭素を燃焼せしめることを特徴とする粗粒状熱媒体を循環使用しそれを濃厚流動状態に保ちつつ炭化水素類を熱分解する方法及びその装置。</p>
2	3702704 73. 3.13 (木佐 木尚, 真淵 俊介, 多田 孝)		833703 '69. 6.16	<p>A Process for preparing 1,4-diacetoxy-2-butene from dichlorobutenes. (要旨) 3・4-ジクロロ-1-ブテン又はこれと1・4-ジクロロ-2-ブテンとの混合物を酢酸のアルカリ塩と反応せしめて酢酸エステルを製造するにあたり、銅及び銅の化合物から選ばれた少なくとも1種を添加することにより1・4-ジアセトキシ-2-ブテンを選択的に製造する方法。</p>

№	登録番号	公告番号	出願番号	発 明 の 名 称
3	3723510 '73. 3.27 (小野 勲, 柳原 忠久, 岡田 宏亮, 魚谷 武)		206539 '71.12. 9	Process for Producing Acetic Esters of Butenediol. (要旨) 臭化銅と酢酸銅(Ⅱ)の少なくとも1種と, アルカリ金属またはアルカリ土類金属の酢酸塩または臭化物のうち少なくとも1種の存在下, (ただし酢酸塩だけの触媒系は除く)で, ブタジエン, 酸素および酢酸を反応させることを特徴とするブテンジオールの酢酸エステルの製法。
4	3737483 '73. 6. 5 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二, 高本 邦夫)		152367 '71.11. 6	Method of Synthesis of Carboxylated Ethylene Copolymer. (要旨) エチレン-酢酸ビニル共重合体の存在下, 有機過酸化物の重合開始剤を用いて, 温度 20~120°C にて, 無水マレイン酸とα-オレフィンを共重合させることからなる, 無水マレイン酸とα-オレフィンのグラフト共重合体を含む重合体の製造方法。
5	3742039 '73. 6.26 (小野 勲, 柳原 忠久, 岡田 宏亮, 古賀 俊国, 加藤 喬雄)		76641 '70. 9.29	Process for Producing 1,4-Diacetoxy-2-butene from Butadiene. (要旨) ブタジエン濃度 5~70% (容量) のブタジエンおよび酸素を含むガス混合物を酢酸パラジウムと, 酢酸第2銅よりなるレドックス系と, パラジウムおよび銅以外の重金属の酢酸塩および(または)アルカリ金属またはアルカリ土類金属の酢酸塩を含有する液体酢酸と接触させ, 反応を 100~140°C ならびに常圧またはそれ以上の圧力下で行うことを特徴とする1・4-ジアセトキシ-2-ブテンの製造法。
6	3749756 '73. 7.31 (小坂勇次郎, 植村 勝, 藤木 時男, 齊藤 光高)		183616 '71. 9.24	Preparation Method of Carboxylated Polymer. (要旨) エチレン-酢酸ビニル共重合体の存在下, ラジカル開始剤を用いて無水マレイン酸とアルキルアクリレートを共重合させることからなる, 無水マレイン酸/アルキルアクリレートのグラフト共重合体の合成方法。
7	3761542 '73. 9.25 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二, 高本 邦夫)		184959 '71. 9.29	Graft Polymer of Vinyl Chloride and Method of Producing Same. (要旨) エチレン-酢酸ビニル共重合体に塩化ビニルをクラフト重合させるにあたり, メタクリル酸エステル重合体 または/およびその共重合体の存在下に, 塩化ビニルのグラフト重合を行うことを特徴とする透明性および耐衝撃性にすぐれた塩化ビニルグラフト重合体の製造方法。

<英 国 特 許> 10件

1	1302735 '73. 5. 9 (小野 勲, 下村 清一, 深堀建太郎)	1302735 '73. 1.10	12789/70 '70. 3.17	Process for Producing 1,4-Dicarboxy-2-butene. (要旨) ブタジエン, C ₈ 以下の脂肪族モノカルボン酸および酸素を含む混合ガスをパラジウム, イリジウム, 白金, ロジウムおよびルテニウム金属の少なくとも1種またはこれらの金属のカルボン酸塩, あるいは無機酸塩を触媒として充填した反応層で気相流通反応を行わせて, 一般式 $ \begin{array}{ccccccc} & \text{H} & \text{H} & \text{H} & \text{H} & & \\ & & & & & & \\ \text{H} & -\text{C} & -\text{C} & =\text{C} & -\text{C} & -\text{H} & \\ & & & & & & \\ \text{R}_1 & -\text{C} & -\text{O} & & \text{O} & -\text{C} & -\text{R}_2 \\ & & & & & & \\ & \text{O} & & & \text{O} & & \end{array} $
---	---	----------------------	-----------------------	--

№	登録番号	公告番号	出願番号	発 明 の 名 称
				で示されるような1・4-ジカルボキシ-2-ブテン類を製造する方法
2	1308749 73. 7. 4 (真淵 俊介, 木佐木 尚)	1308749 73. 3. 7	32178/71 71. 7. 8	Process for Isomerising Allylic Esters of Carboxylic Acid (要旨) 液相で, アリル位カルボン酸エステルを異性化するにあたり, 触媒として白金の塩素化合物を用いることを特徴とするアリル位カルボン酸エステルの異性体相互間の異性化方法。
3	1315637 73. 7. 26 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二)	1315637 73. 5. 2	35014/71 71. 7. 26	Process for Producing High Impact Styrene Polymer. (要旨) 10~40重量%の酢酸ビニルを含み, メルトインデックスが 30g/10 min 以下のエチレン-酢酸ビニル共重合体の共存下, ラジカル重合開始剤を用いてスチレン, アクリロニトリルを水を媒体とする懸濁系で共重合し, 上記エチレン-酢酸ビニル共重合体が見られる重合体の21~30重量%を占めることを特徴とする耐衝撃性合成樹脂の製造方法。
4	1312974 73. 8. 8 (小野 勲, 山田 静夫, 阿部 裕之, 国広 延子, 田子 和夫)	1312974 73. 4. 11	25812/70 70. 5. 28	Dimerization of α -olefin (要旨) 一般式 R_3Al および R_2AlH であらわされる有機アルミニウム化合物 (ただし R は炭素数 2~6 のアルキル基) より選ばれた少くとも 1 種と一般式 $Ti(OAr)_4$ であらわされるアリルチタネート類 (但し Ar はフェニル, 置換フェニル基またはそれらの誘導体を表わし, 置換フェニル基としてはメチル, プチル, またはフェニル置換のフェニル基等を示す。) より選ばれた少くとも 1 種と, 一般式 $(R_1Z_1)(R_2Z_2)(R_3Z_3)P$, $R_1 R_2 R_3 P$ で示されるホスファイト型化合物, ホスフィン型化合物 (ここで $R_1 R_2 R_3$ はアルキル, アリル, アルキルアリル基, それらの誘導体または水素原子を示し, $Z_1 \sim Z_3$ は酸素原子または/および硫黄原子を示す。) およびホスフィンのアルキルエステル型ないしはアリルエステル型化合物より選ばれた少くとも 1 種の燐化合物の触媒系に α -オレフィンと接触させることを特徴とする α -オレフィンの二量化, 共二量化法。
5	1313325 73. 8. 4 (木佐木 尚, 真淵 俊介, 水野 敏勝)	1313325 73. 4. 11	38974/70 70. 8. 13	Purification of Tetrahydrofuran. (要旨) 含水テトラヒドロフラン (含水 THF) より無水 THF を製造するにあたり, アルカリ金属水酸化物の水溶液と該含水 THF を接触させ, 水の抽出を行い水-THF 系の共沸混合物組成よりも更に THF 濃度の高い混合物を製造する方法。
6	1313738 73. 8. 15 (木佐木 尚, 真淵 俊介, 堤 幸弘)		38973/70 70. 8. 13	Method for Producing 2-Butene-1, 4-Diol. (要旨) 1・4-ジハロ-2-ブテンを加水分解して2-ブテン-1・4-ジオールを製造するにあたり, $C_2 \sim C_4$ のカルボン酸のアルカリ金属およびアンモニウム塩を存在せしめつつ, 混合液の水素イオン濃度 (pH 値) が 3~11 の範囲を出ざるごとくアルカリ又はアルカリ性を呈する塩類を添加することを特徴とする2-ブテン-1・4-ジオールの製造方法。
7	1318667 73. 8. 23 (大槻 進, 内田 侃一, 宮之原 勲)	1318667 73. 3. 31	39477/71 71. 8. 23	Process for Stabilizing 1, 1, 1-Trichloroethane. (要旨) 1, 1, 1-トリクロロエタンに補助剤として, スチレンオキシド, フェニルグリンジルエーテルの少なくとも一種を添加することからなる1, 1, 1-トリクロロエタンの安定化法。

№	登録番号	公告番号	出願番号	発 明 の 名 称
8	1318288 '73. 9.19	1318288 '73. 5.23	37761/73 '70. 8. 5	2-Butene-1, 4-Diformate (要旨) ジハロブテン類に、ギ酸のアルカリ金属塩、アルカリ土類金属塩、又はアンモニウム塩を反応せしめることを特徴とする。2-ブテン-1・4-ジフォームイトの製造法。
9	1329196 '73.11.26	1329196 '73. 9. 5	55C96/71 '71.11.26	Pressure Sensitive Adhesive Composition. (要旨) 酢酸ビニルを重量で30部ないし70部含み、メルトインデックスが40ないし500のエチレン-酢酸ビニル共重合体30部ないし70部、粘着付与剤と粘度低下および感圧性付与剤を両者あわせて70部ないし30部の混合物からなる常態で感圧性の粘着組成物。
10	1325628 '73.12. 4	1325628 '73. 8. 4	29489/71 '71. 6.23	Synthesis of Carboxylated Ethilene Copolymer. (要旨) エチレン-酢酸ビニル共重合体の存在下、ラジカル重合開始剤を用いて、無水マレイン酸と α -オレフィンとを共重合させることによる無水マレイン酸と α -オレフィンを含む重合体の製造法。

<西 独 特 許> 4件

1	2012902 '72.10. 4	2012903 '72. 6. 8	P 2012903.7 '70. 3.18	Verfahren zur Herstellung von 1, 4-Dicarboxy-2-buten. (要旨) 英国特許 No. 1 に同じ (小野 勲, 下村 清一, 深堀建太郎)
2	2012953 '72.11.30	2012953 '72. 7.20	P 2012953.7 '70. 3.18	Verfahren zur Herstellung von hochschlagzähem Vinylchloridpolymeren. (要旨) 塩化ビニル単量体或いはこれと共重合し得る単量体との混合物にテトラヒドロフラン高重合体或いはこれとの共重合体を溶解させ、これに重合開始剤を加えて塩化ビニルを重合させ、全重合物中のテトラヒドロフラン重合体含量を1~15重量%とすることを特徴とする。 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 藤田 宜弘, 新原 英雄)
3	1667746 '73. 2.20	1667746 '71.12.23	P 1667746.6 '67.10.31	Verfahren zur Entfernung von Titanaus solches enthaltender Phosphorsäure. (要旨) 不純物としてチタンを含有する不純リン酸に脂肪族アルコールを溶剤としてリン酸を抽出する際に3価の鉄イオンを共存せしめつつ抽出をおこないチタンを溶剤相に移行し難くすることを特徴とするチタン含有リン酸中のチタンを除去する方法。 (井本利一郎, 迫村 寿男, 菊地 光雄)
4	2026246 '73. 8. 2	2026246 '71. 1.28	P 2026246.8 '70. 5.27	Verfahren zur Dimerisierung oder Codimerisierung von α -Olefinen. (要旨) 英国特許 No. 4 に同じ (小野 勲, 山田 静夫, 阿部 裕之, 国広 延子, 田子 和夫)

<仏 国 特 許> 4件

1	7029920 '72.12.18	70-29920 '70. 8.13	Method de Preparation d'un 2-butène-1, 4-diol. (要旨) 英国特許 No. 6 に同じ (木佐木 尚, 真淵 俊介, 堤 幸弘)
---	----------------------	-----------------------	---